

## 第6回沼津市議会定例会

### 一般質問

\* 一般質問は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。

- ・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を1回目に行い、答弁に対する再質問として2回目及び3回目の質問を行う。
- ・「一問一答」：通告に沿って1回目から、全て一問一答により質問を行う。
- ・「複合」：1回目は一括質問一括答弁方式で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う。

令和2年9月28日、29日、30日

順番	氏名	要旨	答弁を求める者
1	15番 梅沢 弘 *一問一答	1 市長の政治姿勢について (1) 沼津駅鉄道高架事業とコロナ禍における市政運営 ① 地方自治法の第一義的目的である住民福祉の増進と本市の施策 ② 国の制度と「沼津市長期財政に関する試算」との乖離 ③ 新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮対策として本市独自の生活支援 ④ 世界及び日本の経済成長率から見た「沼津市長期財政に関する試算」の修正 ⑤ 国際エコノミスト水野隆徳氏の経済情勢への警鐘に対する市長の認識 ⑥ 他市と沼津市の総合計画及び公共事業に対する取り組み方の違い (2) 本市の自然災害対策 ① 三島市の水害避難対策と狩野川流域治水協議会	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
2	3番 平野 謙  *一問一答	1 生活困窮者に対する支援について (1) 本市における生活保護制度の運用状況 ① 権利としての生活保護への認識 ② 申請、決定数の傾向、認識 ③ 新型コロナウイルス感染症の影響下での受給者への訪問状況 ④ 扶養照会の目的、効果 ⑤ ケースワーカーの負担増大に対する認識 ⑥ 生活保護につながっていない困窮者の現状把握 ⑦ 今後の見通しと認識 (2) 住居確保給付金制度の運用状況 ① 制度の目的 ② 利用者数の推移、傾向、認識 ③ 外国人申請者に対する支援 ④ 今後の見通しと認識 (3) 市長の認識について	市長 関係部長
3	22番 水口 淳  *一括方式	1 沼津市地震・津波対策アクションプランについて (1) 情報伝達の強化 (2) 防災行政無線戸別受信機の設置促進、希望者全戸に設置 (3) 令和2年度消防庁予算の活用、戸別受信機の配備が進んでいない市町村を対象に無償貸付けによる支援、特別交付税措置等の活用 2 南部地域の人口減少対策について (1) 南部地域の空き家対策 (2) 過疎地域である戸田地区における人口減少に対する支援	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
4	6番 尾藤正弘  *一括方式	1 地球温暖化防止に向けた各種取組について (1) ゼロカーボンシティの表明についての認識 (2) COOL CHOICEの推進 (3) 再生可能エネルギーの調達 2 コロナ禍における特殊詐欺の被害防止対策について (1) 迷惑電話対策機器の普及 (2) 高齢者への見守り 3 観光型MaaS (Mobility as a Service) について (1) 観光型MaaSに対する認識及び今後の取組	市長 関係部長
5	8番 霞 恵介  *一括方式	1 教育行政について (1) コミュニティ・スクール（学校運営協議会）について ① 学校運営協議会設置への方向性が示された教育的背景と導入の目的 ② 学校運営協議会設置により学校運営に及ぼす影響と学校評議員会やPTA組織との関係 (2) 学校給食について ① 給食調理場について ア コロナ禍における臨時休業期間中の学校調理員の勤務 イ 給食調理に従事する職員の配置人数とその配置人数の決め方	市長 教育長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
6	9番 深田 昇 ＊一括方式	1 コロナ禍における取組について (1) 換気の悪い密閉空間の改善について ① 換気への認識 ② これまでの取組 ③ 今後の対策 ア 公共施設での対応 イ 商業施設等への情報発信・啓発と換気を促進する物品や設備の導入支援 ウ 避難所等における換気状況の確認・診断 (2) 産後から子育て期の支援について ① 母子保健事業の実施状況や課題について ア 乳児家庭全戸訪問 イ 7か月児健康相談 ウ 1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査 ② 子育て支援センターについて ア 利用状況と課題認識 イ 閉所期間中の不安や困り事への認識 ウ 今後の対策	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
7	23番 梶 泰久 ＊一括方式	1 災害に対する本市の対応策について (1) 避難行動へ結びつけるための情報発信について ① 同報無線自動応答システムの継続 ② 自動で架電するシステムの状況と内容 ③ 沼津市防災アプリの特徴と普及状況及び評価 (2) 避難する場所を判断するスキルアップについて ① 避難先を判断し確実に避難できるような教育 ② 避難所に行かない避難者のフォロー (3) 避難行動要支援者への支援について ① 避難行動要支援者名簿（同意者名簿）の現状と活用 (4) 自治会及び自主防災会による避難所運営に対する支援策について ① 避難所の不足が見込まれる地域とのコンセンサス ② 地域が自主的に運営する避難所に対するフォローアップ (5) 狩野川流域治水協議会によるメリットについて 2 コロナ禍における本市の観光戦略について (1) 観光業の現況と対策及び今後のビジョン	市長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
8	24番 渡 部 一 二 実  *一括方式	<p>1 マイナンバーカードの附帯機能拡大に対応した交付率向上策について</p> <p>(1) マイナンバーカード申請者の状況について</p> <p>① 公務員への一斉取得の取組状況</p> <p>② マイナンバー専用端末等の導入効果</p> <p>③ マイナポイントの付与効果</p> <p>(2) マイナンバーカードによるオンライン申請との関連について</p> <p>① 特別定額給付金の申請と給付状況</p> <p>② マイナンバー制度へのひもづけ（世帯構成情報・入金口座情報）</p> <p>(3) 今後のマイナンバーカード交付率向上への取組について</p> <p>2 ピンチ（コロナ禍）をチャンスに転化させる取組について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策がもたらした地方都市の新たな可能性について</p> <p>① テレワーク定着による移住・定住促進の取組</p> <p>② G o T o キャンペーン（トラベル・E a t）の経済効果と新型コロナウイルス感染防止対策</p> <p>(2) 市民協働のまちづくりに基づいた新型コロナウイルス感染症対策、安全安心について</p> <p>① 静岡県の「S T O P！誹謗中傷」アクション～コロナ差別の解消策～</p> <p>② 接触確認アプリC O C O Aのインストール拡大策</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行への対応策</p>	市 長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
9	25番 渡邊博夫 ＊一括方式	1 沼津市教育大綱（案）と大綱（案）を踏まえた本市の教育について (1) 沼津市教育大綱（案）について ① 市長の大綱（案）策定に向けた決意 ② 大綱（案）策定の背景となる社会情勢の変化と教育の諸課題に対する認識 ③ 大綱（案）の目的・基本方針を具現化するための教育政策 ④ 「言語科」等実績の沼津市教育基本構想の評価と大綱（案）との関係 ⑤ 第5次沼津市総合計画における位置づけ ⑥ 市民への周知と今後のスケジュール (2) 大綱（案）を踏まえた本市の教育について ① 小学校教育との円滑な接続等、幼児教育として目指すもの ② 学力向上のための重点的取組等、学校教育として目指すもの ③ 次世代の地域人材の育成等、社会教育として目指すもの 2 「令和2年7月豪雨」災害の教訓と本市の防災対策について (1) 地球温暖化等により相次ぎ発生する気象災害への認識と科学的知見の集積について (2) 緊急事態におけるライフラインの維持復旧体制について (3) 災害時のハザードマップの活用周知と高齢者避難、逃げ遅れ防止対策について (4) 第5次沼津市総合計画における防災対策の位置づけについて	市長 教育長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を求める者
10	12番 小澤 隆 *一問一答	1 本市の公共事業について (1) 公共事業の工事時期平準化について ① 時期による工事の発注量の現状 ② 平準化のメリットに対する当局の認識 ③ 債務負担行為（いわゆるゼロ市債）の活用 ④ 余裕期間制度の活用 ⑤ その他平準化に向けた取組 (2) 週休2日など休日の確保を見据えた工事期間設定について	市長 関係部長
11	11番 井原 三千雄 *一括方式	1 沼津市立病院の経営改善について (1) 沼津市立病院の経営環境などについての認識 (2) 沼津市立病院新改革プランの取組とその成果 ① 人材 ② 設備 ③ 情報 ④ 経営 2 災害対応の強化に向けた課題について (1) 避難路の点検と管理 (2) 避難地・避難所のトイレ対策 (3) 災害時協定の維持、改善	市長 病院長 関係部長
12	19番 片岡 章一 *一括方式	1 地域コミュニティの在り方について (1) 現状及び課題の認識 (2) 人材の確保・育成の取組 (3) 組織の在り方 (4) 条例の制定 (5) 地域コミュニティ活動への支援 2 子育て支援について (1) 相談支援体制 (2) 産前・産後サポート及び産後ケア ① サービスを利用しやすい環境づくり ② 多胎妊産婦等への支援 ア 多胎ピアサポート事業 イ 多胎妊産婦等サポーター等事業 ③ 妊産婦等への育児用品等の支援	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
13	5番 小泉宣子  *一括方式	1 高齢者施策について (1) 地域包括支援センター ① 基幹型地域包括支援センターにおける認識 (2) 生活支援体制整備事業 ① 生活支援コーディネーターの取組 ② 今後の課題と対応 2 女性の視点での防災対策について (1) 女性の視点での避難所運営マニュアル ① 変更点についての支援 ② 作成状況 (2) 災害時に母子を支える体制づくり ① 静岡県助産師会との協定締結 ② 妊産婦及び乳幼児の専用避難所の指定	市長 関係部長
14	20番 長田吉信  *一括方式	1 新型コロナウイルス感染症対策事業について (1) 地域未来構想20に関する施策について ① 地域未来構想20オープンラボへの対応 ② 地方創生臨時交付金を利用した事業 (2) 特別定額給付金について ① 実施状況と効果 ② 新生児への給付金実施 (3) 市立小中学校における新型コロナウイルス感染症の誹謗中傷対策について ① 現状認識 ② 今後の取組 2 安全で快適な居住環境の整備について (1) 市営住宅への入居に際しての取扱いについて ① 市営住宅の目的 ② 入居に際しての連帯保証人 ③ 60歳未満の入居承継条件の運用	市長 教育長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
15	18番 山下 富美子  *複合	<p>1 沼津市の財政状況とコロナ禍による財政への影響及び対策について</p> <p>(1) 財政への影響について</p> <p>① 現時点で税収に及ぼしている影響</p> <p>② 令和3年度予算編成におけるコロナ禍による税収の減見込み</p> <p>③ 向こう10年間のコロナ禍による税収の減見込み</p> <p>(2) 近隣自治体の動向について</p> <p>① 近隣自治体の減収状況等の把握</p> <p>② 静岡県及び静岡市等の事業の見直しへの受け止め</p> <p>(3) 税収減に対する対応について</p> <p>① 事業見直しへの考え</p> <p>② 財政調整基金や減収補てん債等の対応</p> <p>2 沼津市中継・中間処理施設における現状と対策について</p> <p>(1) プラスチック製容器包装とペットボトルについて</p> <p>① 搬入量と搬出量の推移</p> <p>② 日本容器包装リサイクル協会との契約</p> <p>③ 圧縮成形品等のストック状況</p> <p>(2) 発火物や異物混入の検出や発火等の状況</p> <p>(3) 施設の設備や機器等の維持管理と経年劣化</p> <p>(4) 点検整備等の実施</p> <p>(5) 分別収集等における市民への取組と周知</p>	市長 関係部長
16	16番 岡田 進一  *一括方式	<p>1 介護施設における新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 介護施設におけるPCR検査の拡充</p> <p>(2) 感染拡大時の介護事業者への支援計画</p>	市長 関係部長

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
17	28番 川 口 三 男  *複合	<p>1 これまでの生活様式や地域経済が激変したコロナ禍を踏まえての今後の沼津市政とまちづくりの在り方について</p> <p>(1) コロナ禍での市民の暮らしと地域経済への影響</p> <p>(2) 自己責任の押しつけではない公的支援を拡大する市政運営の在り方</p> <p>2 鉄道高架化事業を手段とした中心市街地のまちづくりの内容とその効果及び根拠について</p> <p>(1) 定住人口の減少と少子高齢化の下におけるまちづくりの在り方</p> <p>(2) 導入する拠点施設や核施設、及びにぎわいを生み出す施策等</p> <p>(3) 市税収入の見通しと財源確保についての内容</p> <p>(4) 公共の福祉についての認識と行政の説明責任</p>	市 長